

アルミ缶 リサイクル ニュース

July
7
2018

Vol. 144

CAN
to
CAN



アルミ缶リサイクル協会

Japan Aluminium Can Recycling Association

東京都豊島区南大塚1-2-12 日個連会館2階
Tel.03-6228-7764 Fax.03-6228-7769 〒170-0005
<http://www.alumi-can.or.jp>

第211回理事会・第46回定時総会開催 2018年度事業活動計画等承認される

当協会は、6月22日(金)に第211回理事会及び第46回定時総会を開催し、2018年度の事業計画、収支予算等が承認されました。今年度の事業計画については本紙をご参照下さい。



第211回理事会・第46回総会の様子



2017年(平成29年)度 飲料用アルミ缶のリサイクル率(再生利用率)を発表 リサイクル率92.5%

当協会は、6月22日(金)に記者会見を行い、2017年(平成29年)度の飲料用アルミ缶のリサイクル率(再生利用量)とCAN to CAN率(再生されたアルミ缶のうち、缶材へ利用された割合)を発表しました。

当日は約30名のアルミ業界関係、環境関係の報道関係者の皆様にお集まりいただき、富永理事長、田代副理事長、末永企画委員長、事務局から以下の説明を致しました。

2017年度のリサイクル率は、昨年度より0.1ポイント向上し92.5%と目標の90%以上が維持されました。一方、CAN to

CAN率は67.3%(前年度62.8%)と昨年を4.5ポイント上回りました。但し、2017年度も約6.7万ト(前年度約6.3万ト)のUBCが輸出(主に韓国)されており、これは国内消費量の約20%に相当します。



記者発表風景(左)末永企画委員長(中)富永理事長(右)田代副理事長



リサイクル率

※1 再生利用重量(310,403ト) = 92.5%
消費重量(335,573ト) (2016年度 92.4%)

※1 輸出入を含む



CAN to CAN 率

缶材向け重量(169,558ト) = 67.3%
国内再生利用重量(251,979ト) (2016年度 62.8%)



2018年度事業活動計画

1.概要

2017年(平成29年)の飲料用アルミ缶の国内出荷缶数は前年比99%の214億缶となり、前年2016年の101%増加に比べると微減となりましたが、引き続き200億缶の大台は維持されました。国内ビール系需要が13年連続前年割れの影響でビール缶の需要は依然減少傾向であり、2015年に急増したアルミSOTコーヒー缶も微減となっており、これらのマイナス要素をRTD缶やボトル缶の伸びでカバーするには至りませんでした。金属缶、PETボトル、紙容器など消費者の多様なニーズに応じた容器選択が更に強まったと言えます。

UBCについては、前年比0.4万ト増加の6.7万トのUBCが

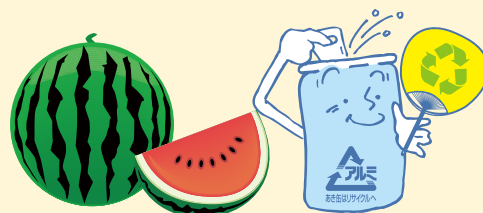
輸出(主に韓国)されており、国内消費量の20%近くのUBCが輸出されている実態は、引き続き国内資源循環の観点からは憂慮すべき事態と言えます。

容器包装8素材で構成する「3R推進団体連絡会」は、2016年度を初年度とする第3次自主行動計画(以下;自主行動計画2020)を作成・公表して取り組みを行いました。リデュース、リサイクルともに着実に数値実績を向上させるなど進展がみられ、市民、自治体など関係各主体との連携・協働への取り組みも深化しました。今後も他容器包装団体との連携活動を継続していきます。

2.基本方針

「アルミ缶における3R推進のための自主行動計画2020」の達成に向け、以下の方針に沿って取り組みます。

- I 安定的にリサイクル率90%以上を維持します。
- II 2020年までに2004年比で5.5%の軽量化を目指します。
- III 3R推進団体連絡会の一員として、積極的に3R推進に取り組みます。



3.2018年(平成30年)度事業活動計画の内容

[1]リサイクルの推進

目標:安定的にリサイクル率90%以上を維持します

2017年度のリサイクル活動は集団回収や店頭回収が堅調に推移し、リサイクル率は前年比0.1ポイント向上の92.5%と目標の90%以上が維持できました。2018年度も引き続き以下の活動を行います。

1)アルミ缶回収ルートの整備・支援

事業者責任としてアルミ缶回収率を上げるために関係者との連携、協働を推進します。

- ①回収拠点と連携して集団回収に取り組む団体の掘り起し、集団回収の促進を支援します。
 - ・回収拠点推薦による「アルミ缶小・中学校回収協力者表彰」、「アルミ缶一般回収協力者表彰」、及び「優秀回収拠点表彰」制度を継続します。
 - ・リデュース・リユース・リサイクル推進協議会主催の「3R推進功労者等表彰」の候補者推薦を継続します。
 - ・広報紙「リサイクルニュース」(4回/年発行)を発行、配付します。
 - ・アルミ缶回収協力者表彰の都道府県別データを整理し、回収会社の新規発掘/登録や推薦依頼活動に役立てます。
- ②自治体への情報収集活動と交流
 - ・全国自治体の開催する環境イベント等へ積極参加し、ノベルティーや資料の提供を通じて協会の認知度向上と交流機会の増加を図ります。

2)広報・啓発活動の推進

アルミ缶及び回収活動への理解を深めてもらうための広報・啓発活動を行い、情報のアップデートに努めます。

- ①若年層への環境教育としての広報・啓発活動
 - ・環境教育への協力、支援として小中学校向けにパンフレット/小冊子、DVD、ポスター等の配布、再生地金サンプル等の教材を貸し出します。
 - ・中学生の修学旅行時等の来協学習を受け入れます。
- ②自治体・消費者への広報・啓発活動
 - ・自治体や各消費者団体主催の展示会、自治体講演会への参加、各種書籍・雑誌等へ寄稿します。
 - ・「エコプロ2018」、「2018CAN-ARTフェスティバル」等の展示会へ参加します。
 - ・タブ回収の活動については引き続き正確な情報提供を行います。(歴史的な経緯と怪我の危険性について)
 - ・ホームページの継続的運用を行いタイムリーな情報提供を行うと共に、協会やアルミ缶回収のPRを行います。
- ③マスコミ関係者や支援団体への広報・啓発活動
 - ・定期的に報道発表を実施します。(2月:アルミ缶需要量、6月:単年度事業計画とリサイクル率)
 - ・リサイクル施設の研修見学会を実施します。(10月)

3)調査活動、その他

- ・2018年(平成30年)度の「アルミ缶リサイクル率」(「CAN to CAN率」含む)調査と公表。
- ・「アルミ缶リデュース率」「アルミ缶再生利用フロー」の調査と公表。
- ・日本アルミニウム協会等と連携し「アルミニウム(アルミ缶)と健康」についての継続調査を実施。
- ・アルミ缶輸出・輸入缶数量、及び世界のリサイクル率について、データ精度を高めます。

[2]リデュースの推進

目標:2020年までに2004年比で5.5%の軽量化を目指します。

2016年よりリデュースの定義を変更して、品種毎の重量寄与率を考慮した新リデュース計算方法に変更しました。2017年の1缶当たりの平均重量は16.12gとなり前年比で0.04g削減となりました。また基準年(2004年)に対しての軽量化率は5.3%となり、昨年比0.2%の軽量化が進みました。

[3]当協会ワーキンググループ(WG)の活動

リサイクルフロー調査WG、3R推進WG、広報WGを継続し、リサイクル率向上のための施策、自主行動計画のフォローアップ、効率的・効果的な広報活動の推進を考えます。昨年は協会ミッションを議論するための企画委員会を開催、当協会の歴史の再認識とミッションの再確認を行いました。

[4]3R推進団体連絡会メンバーとしての活動

3R推進のために事業者は消費者、自治体との「主体間の連携」を進めることが必要との認識に基づき、同連絡会が開催する各種取組みに参画します。また一昨年に策定・公表した「自主行動計画2020」に引き続き取り組みます。

- ①事業者自ら実践する3R推進計画の推進
 - ・リデュース、リサイクル目標達成に向けて取り組みます。
- ②普及・啓発活動の推進
 - ・3R推進フォーラム、3R交流セミナー意見交換会(3都市予定)を開催し市民、行政との意思疎通を図ります。
 - ・市民リーダー育成のための支援、リサイクル冊子の作成・配布を行います。
 - ・エコプロ等の展示会に参加します。
- ③今後の中長期活動計画の策定
 - ・第4次自主行動計画に向けて3R推進団体連絡会の事業活動を策定していきます。

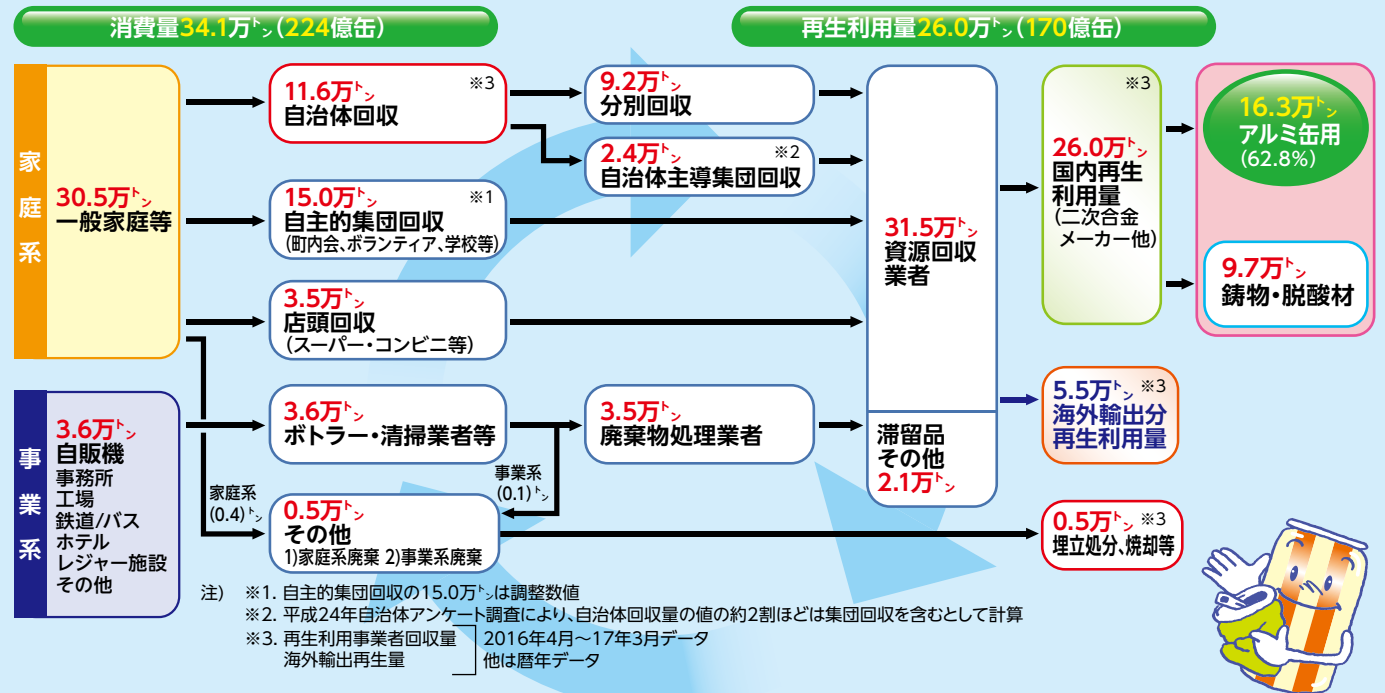




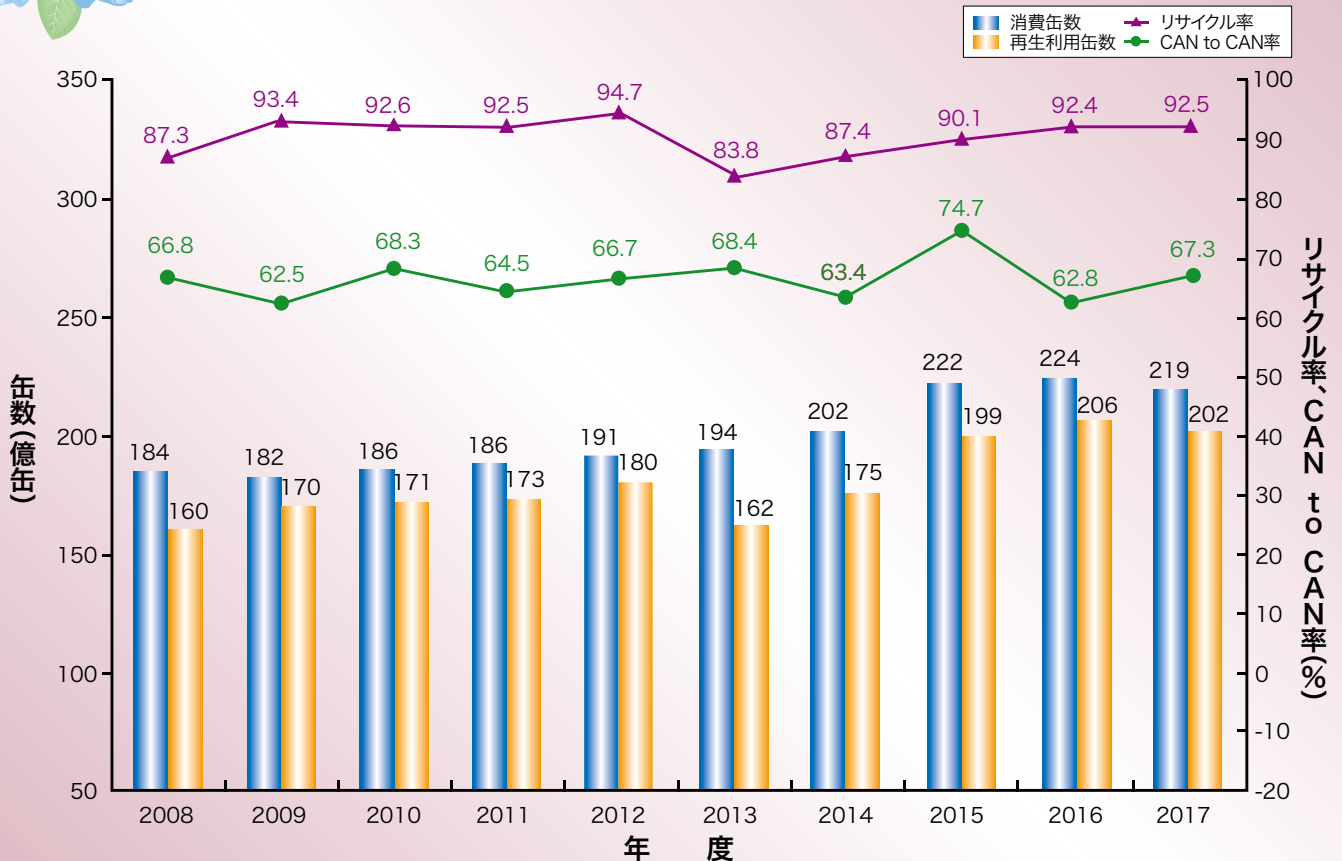
2016(平成28)年度 アルミ缶再生利用フロー図

アルミ缶消費重量は34.1万トン。再生利用量は26.0万トン。

①リサイクル率は海外輸出分再生利用量を入れて92.4% ②CAN to CAN率は62.8%



アルミ缶リサイクルの推移(最近10年間)



参考▶ 世界各国のアルミ缶リサイクル率 (2018年6月末日更新)

国名	需要量(億缶)					リサイクル率(%) リサイクル率の算出方法は各国で異なる				
	2011年	2012年	2013年	2014年	2015年	2011年	2012年	2013年	2014年	2015年
イギリス*1	94	94	96	98		60	65	65	65	
イタリア*1	19	21	23	22		60	67	72	74	
フランス*1	41	43	47	51		55	57	64	67	
ドイツ*1	32	34	33	36		96	96	99	99	
スペイン*1	66	65	62	63		63	65	66	66	
ノルウェー*1			4	5		94	96	95	95	
アメリカ*2	925	922	940	933	932	65.1	67	66.7	66.5	64.3
ブラジル*3		198		229	231	98.3	97.9		98.4	97.9
韓国*4	34					80				
日本	188	191	194	202	222	92.5	94.7	83.8	87.4	90.1

*1 需要量:BCM (Beverage Can Makers Europe)の年次報告書による
リサイクル率:EAA (European Aluminium)のプレスリリースによる

*3 ABAL (The Brazilian Aluminum Association)のプレスリリースによる
*4 韓国金属缶資源協会のホームページより抜粋

*2 需要量:CMI (The Can Manufacturers Institute)の年次報告による
リサイクル率:AA (The Aluminum Association)のレポートによる

来協学習

毎年、修学旅行シーズンであるこの時期には、全国の中学校のグループが当協会を訪れ、アルミ缶のリサイクルについて勉強していかれます。今年も4月～6月現在で3校の来協がありました。協会から現物のサンプル・DVDを使って3Rの基本・アルミについて・アルミ缶のリサイクル等について説明しています。

今年三重県いなべ市立藤原中学校、岐阜県関市立武芸川中学校、岐阜県本巣市立真正中学校の3校の来協学習を実施しました。その中からいなべ市立藤原中学校小寺未希子さんからのお手紙を紹介いたします。

「先日は私たちの訪問学習にご協力いただきありがとうございました。今回の訪問でたくさんのことを学ばせていただきました。その中でも特に私の心に残っている事は二つあります。一つは「混ぜればゴミ、分ければ資源」という言葉です。本当にその通りだと思って、今まで気にせず混ぜてしまったりもしたので、これからは少しでも資源にするために

分別しようと思います。二つ目はアルミ缶のリサイクル率が92.4%だという事です。私は92.4%はかなり高いと思っていました。でも、リサイクルされていない缶がまだ10%くらいあるので、私の知り合いや家族に広めて少しでもこのパーセントを上げていけるようにがんばりたいと思います。

今回の訪問学習では本当にたくさんの方の事を学ばせてもらって楽しかったし、自分の成長にもつながったと思います。本当にお世話になりました。これからも皆様のますますのご活躍をお祈りいたします。」

*原文のまま(リサイクル率は2016年度の値です)



いなべ市立藤原中学校



関市立武芸川中学校



本巣市立真正中学校

協会からのお知らせ

アルミ缶リサイクル協会の事務所が移転しました。

7/2より業務開始

〒170-0005 東京都豊島区南大塚1-2-12 日個連会館2階

電話:03-6228-7764(変更無し) FAX:03-6228-7769(変更なし)

お近くにお越しの際は是非お立ち寄り下さい。
地図はホームページに掲載しています。

協会からのお願い

● タブは缶から外さずいっしょにリサイクル

アルミ缶のタブは環境保護のため、缶フタから離れないようにしてあります。タブはタブだけで回収するのではなく、缶に付けた状態で丸ごと回収してください。無理にタブを取るとケガをする場合もあり危険です。

● ボトル缶のキャップの取扱い

飲料用アルミボトル缶のキャップは、アルミ製です。キャップも貴重なアルミ資源です。キャップ・本体とも軽く水洗いした後、中の水分をよく切ったうえ、キャップを軽く締めて回収してください。

● アルミ缶にタバコを入れないでください

アルミ缶にタバコの吸殻を入れると、リサイクルの妨げになるだけでなく、火災の原因になる可能性があります。

アルミ缶のリサイクルは
タブをつけたままで!



編集後記

盛夏の候皆様いかがお過ごしでしょうか。西日本の方々には大雨による災害お見舞い申し上げます。協会は住み慣れた銀座を離れ少し北の方角へ移転しました。個人的には豊島区での勤務は初めてですが、何事も慣れが肝心で“住めば都”という事もあります。某有名ホテルも開業し、最近注目されている場所でもありますので今後さらに頑張っていきたいと心機一転決意を新たにしている編集者でした。

アルミ缶リサイクルニュース第144号

発行日 平成30年7月25日

発行人 森口 夏樹

編集人 小林 裕

発行所 アルミ缶リサイクル協会